

ほっとする「しあわせ」をお届けして間もなく100周年—— TAMAGAWA Group の社内報

Rica

社内報「リカ」②

Vol.7 No.2 SUMMER



TAMAGAWA
Linen supply & Bedclothes

新型コロナウイルス感染禍が教えてくれるもの

玉川グループ代表 關口雅章

關口リカ生誕百三十年記念

リカと玉川

山本一良OBのエッセイ

リネンサプライよもやま話【第12話】

最新版・玉川グループの

新型コロナウイルス対策とは

Local topic news

本社・入間・太田・白河

特集・頼もしきパートナー in 玉川

令和二年社内表彰 &

サムどり改善実績発表

『技能評価試験』合格オメデトウ！

特集・たまがわの名所だより

【連載】關口武雄物語「第15回」

背負った十字架

エアーリッシュ体験談

裏表紙

25

21

20

17

14

9

6

4

2

1

社内報「Rica」は、創業一世紀という輝かしい未来を迎るために、部署や地域を超えて、玉川グループに属するすべての仲間との意志疎通を図り、より多くの声を経営に反映させ、企業の発展をめざすことを目的としています。同時に、創業一世紀という歴史と伝統と文化を持つ企業としてふさわしくあるために、豊かな知識や教養を育むことを目的としています。



『ミネルヴァ』：知恵や医学などを司るローマ神話の女神

新型コロナウイルス感染禍が 教えてくれるもの

玉川グループ代表 關口雅章

新型コロナウイルス感染拡大の終息がなかなか見通せない中、私たちはこれからをどのように暮らし生活していくのか、企業人としてどのように考えて就業、経営していくのか。私たち一人ひとりに大きな宿題の回答を求められているのではないかと思います。

実は、世界的な感染症拡大・パンデミックは今回が初めてではありません。歴史的に見て人類が経験しただけでも、14世紀には飛行機もクルーズ船もなかった時代に黒死病（ペスト）で7500万人、2億人が亡くなっています。1520年には一人の天然痘ウイルス保持者がメキシコに上陸、電車もバスもない時代にもかかわらず大流行し中央アメリカ全域が大打撃を受けて、人口の3分の1が亡くなつたとされています。また、1918年にはひどい悪性のインフルエンザが数か月のうちに世界の隅々まで広がり、5億人の人が感染しました。当時的人口の4分の1を超えると言われています。以後、エイズやエボラ出血熱などの恐ろしい感染症はあつたものの、感染症の発生率や影響は劇的に減少し、21世紀に感染症で亡くなる人の割合は著しく減少しました。

中世の人々が、黒死病の原因をついに発見することことができなかつたのに対して、現代では科学者たちがわずか2週間で新型コロナウイルスを見つけ、ゲノムの配列解析を行い、感染者を確認する信頼性の高い検査を開発することができています。そして、予防接種や治療薬、衛生状態の改善、医療インフラの充実などのおかげで、人類は目に見えない襲撃者よりも優位に立ち、新型コロナウイルス感染拡大も終息できるものと思います。

将来、この種の大流行に繰り返し見舞われる可能性は否定できません。しかしながら危機は好機でもあります。

こうした非常時は、企業にとつてその本質を社会にさらすことになります。本質とは、その企業の本来の存在価値です。「徳」を求めている企業なのか「得」を追及している企業なのか。自社だけ、自分だけを考えている企業なのか、社会に役立つ何かを提供している企業なのかが見えてくるのです。この度の新型コロナウイルス感染は「未来の働き方や暮らし方」そして「企業の在り方、経営の考え方」まで問われているのではないでしょ

うか。
(資料・ユヴァル・ノア・ハラリ氏著『新型コロナウイルスについて』より)